

ウメバチソウ

Parnassia palustris

ユキノシタ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし



種
子
植
物

低地から低山地の日当たりのよい草地に生える草丈10～40cmの多年草。茎につく1枚の葉は無柄で茎を抱く。花期は9～10月、茎の先に梅鉢の紋に似た白い花をつける。日本全土に広く分布し、本県でもほぼ全域に生育地が広がっている。生育地の草原は野焼きの停止などで森林化し、あるいは人工草地へ改変され、人による採取もあって、生育地の減少が懸念される。

(写真・文：生野喜和人)

県内分布 耶馬溪・国東丘陵地、英彦山・犬ヶ岳山地、津江山地、玖珠丘陵地・山地、九重火山群、由布・鶴見火山群、大分川・大野川丘陵地、豊後水道後背地域、大野川上流域

分布域 北海道、本州、四国、九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
北半球温帯～亜寒帯

国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう、瀬戸内海、耶馬日田英彦山、祖母傾]